課題研究　講義科目

科目名: 卒業研究（経営、国際）	ゼミナール 卒業研究	科目コード	ED03
担当講師: 欧陽　菲		単位	4
		配当年次	4

科目の概要

前提科目となる「ゼミナール」を含めて、実質的に１年間をかけて「成果物（卒業論文）」を作成する。論文の書き方などの基礎知識の修得も含め、積極的な取組姿勢と努力、自律性が要求される。「業務改善」「システムの構築・改善」など、いわゆる問題解決のための「しくみづくり」の能力育成を目的として、本学でのマネジメントに関する学習成果を統合化していくことをねらいとする。また、自ら進んで学習・研究することの意義、発揮された成果だけが認められるということ、学問研究と「思い入れ」の重要性についても理解する。

履修の前提となる科目	☑ あり　☐ なし	科目名:	＊EC03（ゼミナール（問題解決入門））、もしくはEC04（ゼミナール（小論文のまとめ方））を修得していること。

科目の到達目標	①「ゼミナール」での活動や事前学習で修得した研究活動で必要な一定の手順（アプローチ方法や資料・情報収集など）と形式（引用のルールなど）に関する知識を活用することができる。 ②マネジメントに関する全般的な知識を踏まえて自身の「研究テーマ」を設定し、一定の妥当性を有する「自分なりの論」として展開した「成果物（卒業論文）」をまとめあげることができる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究 講義科目

科目名: 卒業研究（経営、法律、経済、財務会計、税務）	ゼミナール 卒業研究	科目コード	ED03
担当講師: 齊藤 聡		単位	4
		配当年次	4

科目の概要

前提科目となる「ゼミナール」を含めて、実質的に１年間をかけて「成果物（卒業論文）」を作成します。論文の書き方などの基礎知識の修得も含め、積極的な取組姿勢と努力、自律性が要求されます。「業務改善」「システムの構築・改善」など、いわゆる問題解決のための「しくみづくり」の能力育成を目的として、本学でのマネジメントに関する学習成果を統合化していくことをねらいとします。また、自ら進んで学習・研究することの意義、発揮された成果だけが認められるということ、学問研究と「思い入れ」の重要性についても理解します。

履修の前提となる科目	☑ あり ☐ なし	科目名:	＊EC03（ゼミナール（問題解決入門））、もしくはEC04（ゼミナール（小論文のまとめ方））を修得していること。

科目の到達目標	①「ゼミナール」での活動や事前学習で修得した研究活動で必要な一定の手順（アプローチ方法や資料・情報収集など）と形式（引用のルールなど）に関する知識を活用することができる。 ②マネジメントに関する全般的な知識を踏まえて自身の「研究テーマ」を設定し、一定の妥当性を有する「自分なりの論」として展開した「成果物（卒業論文）」をまとめあげることができる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究　講義科目

科目名: 卒業研究（経営、人材マネジメント）	ゼミナール 卒業研究	科目コード	ED03
担当講師: 齊藤　弘通		単位	4
		配当年次	4

科目の概要

前提科目となる「ゼミナール」を含めて、実質的に１年間をかけて「成果物（卒業論文）」を作成する。論文の書き方などの基礎知識の修得も含め、積極的な取組姿勢と努力、自律性が要求される。「業務改善」「システムの構築・改善」など、いわゆる問題解決のための「しくみづくり」の能力育成を目的として、本学でのマネジメントに関する学習成果を統合化していくことをねらいとする。また、自ら進んで学習・研究することの意義、発揮された成果だけが認められるということ、学問研究と「思い入れ」の重要性についても理解する。

履修の前提となる科目	☑ あり　☐ なし	科目名:	＊EC03（ゼミナール（問題解決入門））、もしくはEC04（ゼミナール（小論文のまとめ方））を修得していること。

科目の到達目標	①「ゼミナール」での活動や事前学習で修得した研究活動で必要な一定の手順（アプローチ方法や資料・情報収集など）と形式（引用のルールなど）に関する知識を活用することができる。 ②マネジメントに関する全般的な知識を踏まえて自身の「研究テーマ」を設定し、一定の妥当性を有する「自分なりの論」として展開した「成果物（卒業論文）」をまとめあげることができる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究　講義科目

科目名：卒業研究（財務会計、税務）	ゼミナール 卒業研究	科目コード	ED03
担当講師：佐々木　理恵		単位	4
		配当年次	4

科目の概要

前提科目となる「ゼミナール」を含めて、実質的に１年間をかけて「成果物（卒業論文）」を作成する。論文の書き方などの基礎知識の修得も含め、積極的な取組姿勢と努力、自律性が要求される。「業務改善」「システムの構築・改善」など、いわゆる問題解決のための「しくみづくり」の能力育成を目的として、本学でのマネジメントに関する学習成果を統合化していくことをねらいとする。また、自ら進んで学習・研究することの意義、発揮された成果だけが認められるということ、学問研究と「思い入れ」の重要性についても理解する。

履修の前提となる科目	☑ あり　☐ なし	科目名：	＊EC03（ゼミナール（問題解決入門））、もしくはEC04（ゼミナール（小論文のまとめ方））を修得していること。

科目の到達目標	①「ゼミナール」での活動や事前学習で修得した研究活動で必要な一定の手順（アプローチ方法や資料・情報収集など）と形式（引用のルールなど）に関する知識を活用することができる。 ②マネジメントに関する全般的な知識を踏まえて自身の「研究テーマ」を設定し、一定の妥当性を有する「自分なりの論」として展開した「成果物（卒業論文）」をまとめあげることができる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究　講義科目

科目名: 卒業研究（経営、経済、医療、福祉、終末期医療）	ゼミナール 卒業研究	科目コード	ED03
担当講師: 佐藤　美香子		単位	4
		配当年次	4

科目の概要

前提科目となる「ゼミナール」を含めて、実質的に１年間をかけて「成果物（卒業論文）」を作成する。論文の書き方などの基礎知識の修得も含め、積極的な取組姿勢と努力、自律性が要求される。

「業務改善」「システムの構築・改善」など、いわゆる問題解決のための「しくみづくり」の能力育成を目的として、本学でのマネジメントに関する学習成果を統合化していくことをねらいとする。また、自ら進んで学習・研究することの意義、発揮された成果だけが認められるということ、学問研究と「思い入れ」の重要性についても理解する。更に卒業後の進学等も念頭におき、研究の基本を習得し，仮説と検証を行い、研究を通じて学問を体系化する。

履修の前提となる科目	☑ あり　☐ なし	科目名:	＊EC03（ゼミナール（問題解決入門））、もしくはEC04（ゼミナール（小論文のまとめ方））を修得していること。

科目の到達目標	①他ゼミ生とのディスカッションや講師との双方向のコミュニケーションを通じて、研究テーマ、方法を吟味する。 ②本学で学んだマネジメントをふまえ、論理的思考により学問の集大成として纏め上げる

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究　講義科目

科目名: 卒業研究（経営）	ゼミナール 卒業研究	科目コード	ED03
担当講師: 松本　久良		単位	4
		配当年次	4

科目の概要

前提科目となる「ゼミナール」を含めて、実質的に１年間をかけて「成果物（卒業論文）」を作成する。論文の書き方などの基礎知識の修得も含め、積極的な取組姿勢と努力、自律性が要求される。「業務改善」「システムの構築・改善」など、いわゆる問題解決のための「しくみづくり」の能力育成を目的として、本学でのマネジメントに関する学習成果を統合化していくことをねらいとする。また、自ら進んで学習・研究することの意義、発揮された成果だけが認められるということ、学問研究と「思い入れ」の重要性についても理解する。

履修の前提となる科目	☑ あり　☐ なし	科目名:	＊EC03（ゼミナール（問題解決入門））、もしくはEC04（ゼミナール（小論文のまとめ方））を修得していること。

科目の到達目標	①「ゼミナール」での活動や事前学習で修得した研究活動で必要な一定の手順（アプローチ方法や資料・情報収集など）と形式（引用のルールなど）に関する知識を活用することができる。 ②マネジメントに関する全般的な知識を踏まえて自身の「研究テーマ」を設定し、一定の妥当性を有する「自分なりの論」として展開した「成果物（卒業論文）」をまとめあげることができる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。具体的には、設定した仮説が適切な手続きを経て検証されているか、どちらに偏ることなく理論と実践との均衡を考慮した成果物になっているか、参考文献によって裏付けられているとともに要所要所で自身の考えや意見が展開されているか、論文の成果が読み手に比較的分かり易く伝わるものになっているか、テーマに据えた問題の解決に役立つ内容になっているか、などが評価の重要なポイントになります。

課題研究　講義科目

科目名: 卒業研究（心理学）	ゼミナール 卒業研究	科目コード	ED03
担当講師: 末﨑　裕康		単位	4
		配当年次	4

科目の概要

前提科目となる「ゼミナール」を含めて、実質的に１年間をかけて「成果物（卒業論文）」を作成する。論文の書き方などの基礎知識の修得も含め、積極的な取組姿勢と努力、自律性が要求される。「業務改善」「システムの構築・改善」など、いわゆる問題解決のための「しくみづくり」の能力育成を目的として、本学でのマネジメントに関する学習成果を統合化していくことをねらいとする。また、自ら進んで学習・研究することの意義、発揮された成果だけが認められるということ、学問研究と「思い入れ」の重要性についても理解する。

履修の前提となる科目	☑ あり　☐ なし	科目名:	＊EC03（ゼミナール（問題解決入門））、もしくはEC04（ゼミナール（小論文のまとめ方））を修得していること。

科目の到達目標	①「ゼミナール」での活動や事前学習で修得した研究活動で必要な一定の手順（アプローチ方法や資料・情報収集など）と形式（引用のルールなど）に関する知識を活用することができる。 ②マネジメントに関する全般的な知識を踏まえて自身の「研究テーマ」を設定し、一定の妥当性を有する「自分なりの論」として展開した「成果物（卒業論文）」をまとめあげることができる。

成績評価の方法

履修者の研究計画と中間・最終報告内容、および提出された成果物の内容に基づき、総合的な評価を行います。